

# 放課後等デイサービス 児童発達支援夢門塾戸塚原宿 自己評価表

記入日:	2024 年 1月 31日
事業所名:	児童発達支援 夢門塾戸塚原宿

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	0	3	3	・人数に対してスペースが狭い ・収納や机や椅子の配置を工夫してスペースを確保する努力をしている
	②	職員の配置は適切である	6	0	0	・安全確保と加算を考えて勤務表を作成している
	③	衛生面の管理が行き届いている	6	0	0	・コロナ5類移行後も、未就学のお子さん対象の教室なので使用した教材やおもちゃ等の消毒を行っている
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	0	・毎日ミーティングを行い業務改善に努めていますが、その日に勤務していない職員に対しても今まで以上に情報共有を行っています
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	・保護者評価の内容を職員全員で確認し、何ができるかを話し合っている
	⑥	自己評価の結果を公開している	6	0	0	・自己評価の結果を公開していることを職員全員に報告している
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	6	0	0	・社内研修にはできるだけ参加し、支援等で欠席の場合は動画視聴や資料について説明している ・外部研修にも参加し、職員へフィードバックしている
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6	0	0	・個別支援計画を意識した支援をするように心掛け、保護者様との会話の中からもニーズをくみ取れるように努めている
	⑨	活動の計画をチームで行っている	6	0	0	・活動内容をまとめた書類を作成している
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	6	0	0	・夢通信を作成する際に、以前と同じものでも内容がより良くなるよう工夫している
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	3	1	0	・児発は年間通じて利用時間が一定 ・長期休暇中はいつもと違う時間に入室されるお子さんもいるので支援が同じにならないように配慮している
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	6	0	0	・個別支援計画の内容やお子さんの状態を見て個別・集団活動を組み合わせるようにしている
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0	・事前に役割分担や活動内容を打ち合わせしておき、支援開始前は確認をしている
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	・記録のとり方についても良くなるように、気づいたことがある時は話し合うようにしている
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	・日々の話し合いの中から児発管が判断している
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	6	0	0	・1つの活動にどんな支援を入れることができるか考えながら内容を検討している	

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	0	0	0	・児発の為、該当なし
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	5	0	0	・児発の為、現在利用している園や入学予定の小学校と情報共有を行っている
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	0	0	0	・児発の為、該当なし
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	0	・研修に参加している
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	6	0	0	・フィードバックで小さなことでも情報を共有できるように心掛けている
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	6	0	0	・契約時と請求書等の配布時に説明するようにしている
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	6	0	0	・フィードバックやゆめcafe等で話せる機会をできるだけ作っている ・担当スタッフ以外でも保護者様が気軽に話せる雰囲気を作っている
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	2	1	3	・ゆめcafeは行っている
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	・苦情になりそうな時に早めに事実確認して、誤解されている場合は丁寧に説明するようにしている
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6	0	0	・夢通信、ゆめだよりを発行している
	㉗	個人情報保護に十分注意している	6	0	0	・職員間で声を掛け合い個人情報保護に努めている
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	・外国人の保護者の方もいらっしゃるので、丁寧にわかりやすい話し方を心掛けている
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	5	1	0	・地域の方が参加できるゆめcafeを開催している
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	6	0	0
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	6	0	0	・活動にも避難訓練を取り入れている
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	・社内研修を受けている
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	6	0	0	・契約時に丁寧に説明している
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	0	0	0	・投薬の機会はない
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	6	0	0	・小さなことでもヒヤリハットについて話し合い報告書ファイルを作っている
<b>保護者様評価、自己評価についてまとめ</b>						
保護者様の評価と自己評価に大きな差がないことが分かり、これからもよりよい支援ができるよう取り組んでいきたい。						